

志和池中学校だより



令和7年4月号 文責校長

令和7年度のスタートです

4月9日（水）の入学式で70名の1年生を迎え、全校生徒207名（2年生79名、3年生58名）で志和池中がスタートしました。新入生は、学校に少しずつ慣れ、明るく元気な声が聞こえます。授業や係活動にも積極的に参加しているようです。

2，3年生は集会の様子、行事の準備や片付け等、学校生活の様々な場面で手本を見せ、率先して動いています。「話を目で見て聴き、相手を思いやる態度」や「周りを見ながら次は何をすべきか考えて行動する姿」が身に付いており、とても頼もしく感じました。これまで志和池中で受け継がれてきた伝統ですね。これからも大切にしながら守り育てていきます。

令和7年度学校だより第1号です。

校長として赴任しました松下 綾（まつした あや）と申します。生徒たちや先生方と共に、地域や保護者のご協力をいただき、地域に根ざした学校づくりに努めます。職員共々どうぞよろしくお願いいたします。



4月8日（火）の始業式で生徒の皆さんに話をさせていただきました。

私は皆さんに、この志和池中で明るく楽しい充実した学校生活を送ってほしいと心から思っています。

まず一つめは、「互いの良さを認め合い、協力して素晴らしいクラス・学年をつくること」です。今日から皆さんは、それぞれのクラスで、新しい仲間と共同生活を送ります。「今日の新たな出会いを大切に」みんなが安心して仲良く生活できる、そして、喜びや悲しみを共有できる心優しいあたたかなクラス、学年を仲間や先生方と築いていってください。

もう一つは、「自分なりの挑戦」です。「自分なり」とは、自分と他人を比較することではなく、勉強もスポーツも、その人の人間性も、自分なりの努力や工夫を重ね、時に成功したり、そして時には失敗したり、くじけたりしながら、たくましく成長することです。「やらなかった」と「できなかった」は似た言葉ですが、まったく意味は違います。「やらなかった」とそもそも挑戦すらしなかったことですが、「できなかった」は、頑張ってみたけどかなわなかったというニュアンスをもちます。皆さん、新しい挑戦をするには、今こそが一番のチャンスです。新しいことに挑戦して、自分の可能性を広げてください。そして、できなかったり失敗したりした時に、自分をダメな人間だとは思わないでください。目標に向かって頑張れるすてきな自分だということをおすすめします。

皆さんにとって素晴らしい一年になることを願っています。